

シップヘルスケアグループ 医療従事者様サポートマーク

医療従事者の皆様に寄り添う意志を表す[プラス]のかたち、
医療従事者の皆様への感謝の意志を表す[ハート]のかたち、
医療従事者の皆様を支える強い意志を表す[!]のかたち。

それらを組み合わせたオリジナルマークは、
いかなる時でも医療従事者の皆様をサポートするという、
シップヘルスケアグループの思いを表象し、
医療従事者の皆様への感謝を視覚的に伝えるためのマークです。

第 31 期 中間報告 株主通信 [2022年4月 1日▶] [2022年9月30日]

生命を守る人の環境づくり

SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

証券コード：3360

マネジメントメッセージ



代表取締役会長

古川 國久



代表取締役社長

大橋 太

● グループ理念

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

グループミッション

生命を守る人の環境づくり

● 基本姿勢

し せい そく だつ
至 誠 惻 怛

「至誠」はまごころ、「惻怛」はいたみ悲しむ心を表し、
この心を兼ね備えて生きることが
人間としての生きる基本姿勢であり、
当社グループの基本姿勢です。

● 2022年 スローガン

積算と棚卸し ファイト!ファイト!

『進化』と『成長』はとまらない

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられた皆様に謹んでお見舞い申し上げますとともに、日々患者様の治療に当たっておられる医療従事者の方々に深く感謝を表します。

当社グループは、前中期経営計画『SHIP VISION 2020』で得られた成果を基礎に、長期目標「連結売上高1兆円」の実現に向け更に加速するべく、当期(2023年3月期)を初年度とする3か年の新中期経営計画『SHIP VISION 2024』をスタートさせております。長期目標達成に向けたマイルストーンとして計画最終年度(2025年3月期)は連結売上高6,300億円を掲げました。この目標を完遂すべく、グループ一丸となって取り組んでまいります。

我が国では、少子高齢化や労働人口減少、医療費増大といったメガトレンドが進行する中、限られた医療資源を適切に活かし、各地域に“持続可能な医療”を提供できる仕組みが求められています。新中期経営計画では、こうした課題に対する独自のソリューションとして、当社グループがこれまで培ってきたコンサルティング力とプロデュース力を駆使し、地域医療に高品質かつ幅広いバリューを提供する高付加価値型の事業運営を推進しております。グループ68社の強固な連携、シナジーの最大化を図りながら、他社に追随を許さない圧倒的なソリューションを提供できる集団として、業界をリードしてまいります。

また、当社グループはヘルスケア業界に身を置く企業として、社会全体のサステナビリティへの貢献は責務であると認識しております。これまで“生命を守る人の環境づくり”をミッションに事業に取り組んでまいりましたが、グループの拡大や事業領域の広がりに伴い、人々が「より良く生きる(Well-being)」社会の実現に向けて、当社グループの豊富なノウハウを活かした新しい取り組みにも挑戦しております。その例として、当社が拠点を置く大阪府吹田市では、桃山公園及び江坂公園の魅力向上や運営管理を担うなど、より良い地域社会の実現に向け、積極的な活動を行っております。

当社は、1992年8月の設立から30周年を迎えましたが、これからも一層の努力を行い、皆様のご期待にお応えできるよう「進化」と「成長」のあゆみを更に加速させてまいります。

株主の皆様には、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

中期経営計画『SHIP VISION 2024』 長期目標「連結売上高1兆円」への取組みを加速！

業績について

当上半期の業績は、増収増益基調で推移

当社グループの属する医療業界では、新型コロナウイルス感染症「第7波」による発熱外来の逼迫や医療従事者の感染増加等により、医療提供体制が一時困難な状況に陥ったこともあり、引き続き新型コロナウイルス感染症等にも対応できる効率的・効果的で質の高い医療提供体制の構築が求められております。このような状況の下、当社グループにおきましては、トータルパックプロデュース事業のプロジェクト案件が順調に推移し、新たにキングラン株式会社当社グループに参画した一方、全事業に共通してエネルギー価格や原材料価格高騰の影響を受けました。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は263,520百万円（前年同四半期連結累計期間比12.3%増）、営業利益は7,971百万円（前年同四半期連結累計期間比5.0%増）、経常利益は7,498百万円（前年同四半期連結累計期間比1.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,143百万円（前年同四半期連結累計期間比0.6%増）となりました。

業績結果

業績結果 (単位：百万円)	2021/9 (前第2四半期)	2022/9 (当第2四半期)	増減率
売上高	234,663	263,520	+ 12.3%
営業利益	7,593	7,971	+ 5.0%
経常利益	7,378	7,498	+ 1.6%
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,118	4,143	+ 0.6%

設立30年のあゆみと今後について

“弛まぬ成長”の30年を基礎に、 次のステージへ

当社は1992年の設立から30年間、順調に業容を拡大してまいりました。これらもひとえに皆様のご支援、ご愛顧の賜物と心から感謝申し上げます。当社は2005年2月に株式上場を果たしましたが、以来、2005年3月期から2022年3月期まで18期連続で増収を重ね、営業利益も常に増益基調で推移してまいりました。2013年3月期(実績)から2023年3月期(予想)の10年間で見ると、売上高が2.5倍、営業利益が1.7倍、そして従業員数が2.4倍となりました。

ヘルスケア市場では、外資や異業種の参入などを交え、競争環境の激化、グローバル化が進むことが予想され、新たなステージへと突入しつつあります。そうした事業環境においても引き続き、社会に新たな価値を提供し続けるため、新たに策定した中期経営計画『SHIP VISION 2024』の取組みを確実に遂行してまいります。

中期経営計画の概要

【重要施策】

- ① コア事業の更なる高成長
- ② 積極的なバリューの拡大
- ③ 機能強化戦略
- ④ サステナビリティに対する取組み

中期経営計画の取組みについて

4つの重点施策を複合的に押し進める

中期経営計画『SHIP VISION 2024』では、4つの重点施策を通じて、新たなバリューの創造、事業の高付加価値化を図ってまいります。

「コア事業の更なる高成長」では、既存事業の強化に加え、戦略的M&Aやグループの横連携などによって「積極的なバリューの拡大」を行っていくことが大きなカギを握っています。グループ各社の強みを活かした新たなソリューションを提供することで社会へ貢献してまいります。

また、これらの成長の基盤となる組織づくり、すなわち「機能強化戦略」や「サステナビリティに対する取組み」についても重要な経営視点として邁進してまいります。

なお、2022年7月、医療・介護施設向けカーテンリース・販売事業を主軸に、設備総合支援事業、リニューアル事業、医療給食事業等を展開するキングラングループ12社を当社グループに迎え入れました。同社とのシナジーを着実に創出できるよう、当社グループの持つリソースを改めてグループ全体で共有し、一層グループの連携を強化してまいります。

セグメント間の連携を図りながら、各事業の旬を捉えた戦略を展開

- | | |
|------------------------|------------------|
| トータルパックプロデュース事業(TPP事業) | 変化する市場ニーズへの対応を推進 |
| メディカルサプライ事業(MSP事業) | 面の拡大とサービス品質の向上 |
| ライフケア事業(LC事業) | 高稼働率の維持と新たな価値の創出 |
| 調剤薬局事業(PH事業) | 他セグメントとの情報連携の強化 |

【大阪重粒子線センター事業】



重粒子線治療の保険適用範囲が拡大し、治療件数が増加

がん細胞にピンポイントで重粒子線を照射し、身体への負担が少なく治療できる最先端のがん治療「重粒子線治療」では、本年4月1日より公的保険の適用対象部位が大幅に拡大しました。

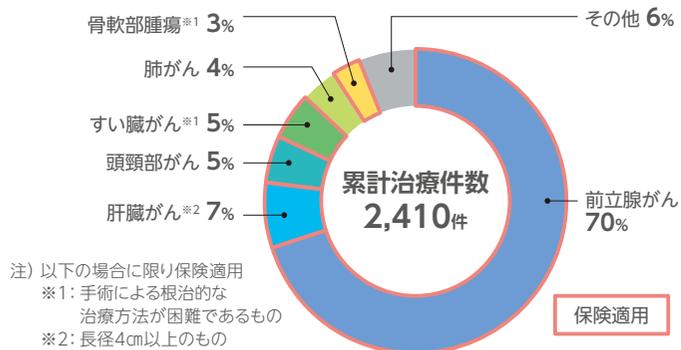
重粒子線治療がより身近になったことで当社が運営する大阪重粒子線センターでも治療実績が順調に拡大しております。当上半期(2022年4月1日~9月30日)の治療件数は既に505件を数え、2018年10月16日の治療開始から累計2,410名の方を治療いたしました。

また、TVで放送した広告の反響も大きく、多くのお問合せをいただきました。

今後も、一人でも多くの患者様の生命を救うべく安定的な運営を続けてまいります。



● 累計治療実績(治療開始件数)内訳 (2018年10月16日~2022年9月30日)



治療に関するお問い合わせ
 公益財団法人
 大阪国際がん治療財団
 〒540-0008
 大阪市中央区大手前3-1-10
 TEL 06-6947-3210

【バングラデシュ事業】



SHIP INTERNATIONAL HOSPITAL
2022年6月18日グランドオープン

2022年6月18日、バングラデシュ現地にてSHIP INTERNATIONAL HOSPITALのグランドオープニング式典を開催いたしました。当日はバングラデシュ政府関係者や病院関係者、JICA本部等の方々をご招待し、総勢約200名のご参加をいただきました。

最先端の設備を揃えた日本式病院第一号として、医療技術の向上や医療人材の教育をはじめとしたバングラデシュ国内の医療環境全体の発展に貢献してまいります。



当院の特徴

- 現地需要の大きい血管性疾患(心臓血管・脳血管)・産婦人科医療・急性外傷の4疾患領域に重点を置く
- 血管造影装置(アンギオ)・MRI・CT・マンモグラフィ等の最新放射線設備を導入
- セントラルユニ、山田医療照明等グループ会社製品をはじめとする日本製機器を配備した日本同様の手術設備環境、医療ガス供給システムを提供
- 中央滅菌材料室・セントラルキッチン・中央洗濯、ETP・STP*等による衛生管理・環境対策を実施



※ETP(Effluent Treatment Plants):排水処理施設
 STP(Sewage Treatment Plants):下水処理施設

【海外ODA案件】



トンガ王国で コンテナICUを設置

JICAが主導するトンガでのODA案件に新たに参画し、ICU、スタッフのステーションルーム、非常用発電機、医療用ガス等を備えた計14基の「コンテナICU」を現地のバイオラ病院敷地内に施工しました。

今後は、これをモデルにした集中治療サービスが、バイオラ病院を中心に離島を含めた医療機関に展開され、本プロジェクトの成果が広くトンガ国内外に波及することが期待されます。

●【設置先】トンガ王国ヌクアロファ市バイオラ病院

一連業務をグループで
受託し、国内外大手
医療機器メーカー製品を
コーディネート



● グループで受託した業務

グリーンホスピタルサプライ

- ▶ ICUコンテナ・医療設備工事・医療機器国内一括調達
- ▶ 現地据付

セントラルユニ

- ▶ 酸素発生器
- ▶ 医療ガス配管
- ▶ ICUカウンター



【トータルパックプロデュース・ライフケア各事業】

キングラングループの参画

2022年7月1日よりキングラングループ12社が当社グループに参画しました。同社は、医療・介護施設向けカーテンリース・販売事業のパイオニアで、その他にも多様な事業を展開しており（下記）、幅広い営業活動を通じた全国の医療機関や介護施設との中長期的なリレーション構築を強みとしております。

今後、同社とのシナジーを活かした事業展開を積極的に推し進めてまいります。

キングラングループの主な事業

- ▶ カーテン事業
- ▶ リニューアル事業
- ▶ ヘルシーハウス事業
- ▶ 医療給食事業
- ▶ MICCS*事業
- ▶ クリネスト事業
- ▶ 介護施設運営
- ▶ 農事業
- ▶ 福祉車両事業

*MICCS(ミックス)…什器・備品のトータルコーディネート事業

TPP事業でのシナジー創出事例

「病院プロジェクト」「メーカー系」とのシナジー

- ▶ 営業機会拡充・営業力強化
(両社が受託する各医療機関へ、相互の事業を共同提案)
- ▶ 酒井医療とのトータル提案事業
(カーテン等什器・備品+医療機器等)

LC事業でのシナジー創出事例

「フード事業」とのシナジー

- ▶ 商品のグループ内調達・内製化
(キングラングループ給食事業で使用する完全調理品をグループで内製化)



【ライフケア事業】

チャーム・ケア・コーポレーション社 との連携を強化

当社ライフケア事業の拡充・更なる効率化を図るため、チャーム社が展開する新たな事業「ヘルスケア・デベロップメント事業」（有料老人ホーム等のヘルスケア物件を開発し、その物件をヘルスケアREIT等の第三者に売却する事業）へ参画しました。

既に、当社連結子会社（グリーンライフ東日本株式会社）が運営事業者として基本合意を締結するなど、事業化に向けた準備が着実に進んでおります。



本案件の概要

施設 設：介護付き有料老人ホーム123戸(東京都)
 運営事業者：グリーンライフ東日本(当社連結子会社)
 賃貸開始時期：2024年6月頃(予定)

ウェルビーイング実現への取組み

【地域環境の保全・魅力向上】

地域の公園魅力向上事業を受託

本社所在地(大阪府吹田市)周辺に位置する公園の魅力向上事業をグループで受託しました。地域の実情に合わせ、きめ細かくかつ一体的な管理運営を行うことにより、効果的かつ効率的に公園及び地域の魅力向上を図ってまいります。



江坂公園完成イメージ ※現時点のイメージであり実際とは異なる場合があります。

受託公園

▶ 江坂公園及び吹田市立江坂図書館(大阪府吹田市)

▶ 桃山公園(大阪府吹田市)

【就労継続支援事業の展開】

「グリーンファーム出雲」が開所

2022年9月にグループ4施設目となる就労継続支援B型事業所「グリーンファーム出雲」(鳥根県出雲市)をオープンしました。多様性を尊重し、障がい者の方の社会進出をサポートするとともに、安心安全で付加価値の高い野菜を提供することで人々が「より良く生きる(Well-being)」社会の実現を目指してまいります。



グリーンファーム施設一覧(全4施設)

▶ グリーンファーム守口
▶ グリーンファーム千里中央

▶ グリーンファーム仙台
▶ グリーンファーム出雲

【サステナビリティボンドへの投資】

「大阪大学 生きがいを育む社会創造債」へ投資表明

2022年4月に国内大学初の大阪大学が発行するサステナビリティボンドへ投資を行いました。本債券への投資を通じて、我が国が抱える社会的課題の解決、また国連の持続可能な開発目標(SDGs)の達成に貢献してまいります。

本債券の概要

銘柄：第1回国立大学法人大阪大学債券
年限：40年
発行総額：300億円
利率：1.169%

株主アンケート集計結果

アンケートへのご協力ありがとうございました。

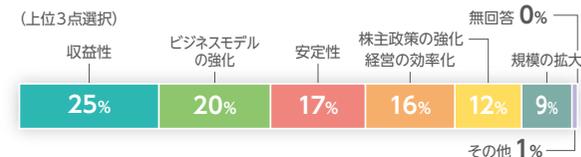
第30期株主通信において株主の皆様へのアンケートを実施いたしました結果、504名の方々よりご回答を頂戴いたしました。ご協力を心より感謝申し上げます。

集計結果や株主の皆様のお声の一部を、ご紹介いたします。

● 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。



● 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか？



● その他ご意見

- 貴社の発展ひいては社会貢献を応援します。
- 新興国での病院等、世界のための活動を応援しています。
- 機能強化戦略が実った先の株主還元(配当)を期待しています。
- 中期経営計画を着実に進め、安定拡大と利益の追求を期待します。
- 医療コンサルなど、付加価値の高い業務を伸ばしてください。

今回のアンケートにおきましても、株主の皆様より多くのご意見・ご要望を頂戴いたしました。今後もシップヘルスケアグループへのご理解をより一層深めていただけますようIR活動にも積極的に努めてまいります。アンケートへのご協力、誠にありがとうございました。

業績の概要

● 主な経営指標の推移[日本基準](連結)

(単位: 百万円)

	2020/3	2021/3	2021/9	2022/3	2022/9 当第2四半期	2023/3 (通期予想)
売上高	484,395	497,156	234,663	514,353	263,520	560,000
営業利益	18,794	21,800	7,593	20,505	7,971	21,000
経常利益	19,931	21,761	7,378	21,287	7,498	21,000
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益	11,803	12,280	4,118	12,172	4,143	12,500
総資産	308,873	334,498	308,496	335,074	360,355	—
純資産	104,681	115,103	114,938	122,318	125,267	—

※「収益認識に関する会計基準」等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。また、2021年3月期以前の各数値は当該会計基準等を遡及適用しておりません。

● セグメント情報 (2022年4月1日～2022年9月30日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、引き続きメーカー系で電装部品調達難や原材料価格の高騰の影響を受けた一方で、プロジェクト案件の完成及び新規受注が堅調に推移いたしました。また、本年4月から保険適用対象部位が拡大したことにより重粒子線がん治療施設における新規外来受診者数及び治療件数が増加いたしました。

この結果、売上高は48,651百万円(前年同四半期連結累計期間比40.2%増)、セグメント利益(営業利益)は2,684百万円(前年同四半期連結累計期間比20.7%増)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、感染症対策補助予算等による案件は減少いたしました。新規SPD施設稼働が順調に推移したことに加え、手術症例数が増加したこと等により診療材料需要が回復いたしました。

この結果、売上高は184,681百万円(前年同四半期連結累計期間比6.5%増)、セグメント利益(営業利益)は2,687百万円(前年同四半期連結累計期間比1.6%増)となりました。

ライフケア事業

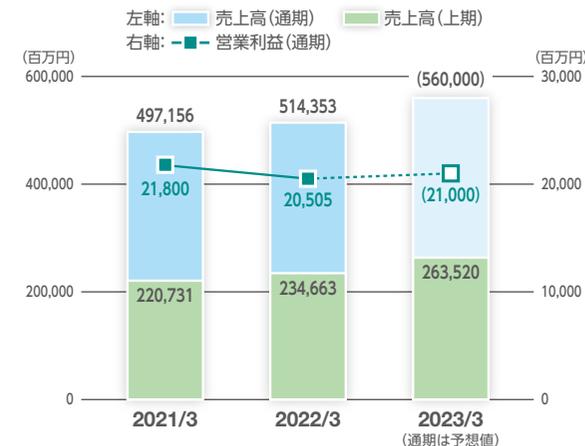
ライフケア事業におきましては、給食事業において食材高騰の影響を受けるとともに、新規M&A関連費用等を計上いたしました。一方で、介護事業では引き続き高い入居率を維持するとともに経営効率化が進捗いたしました。

この結果、売上高は15,472百万円(前年同四半期連結累計期間比23.7%増)、セグメント利益(営業利益)は1,111百万円(前年同四半期連結累計期間比10.4%減)となりました。

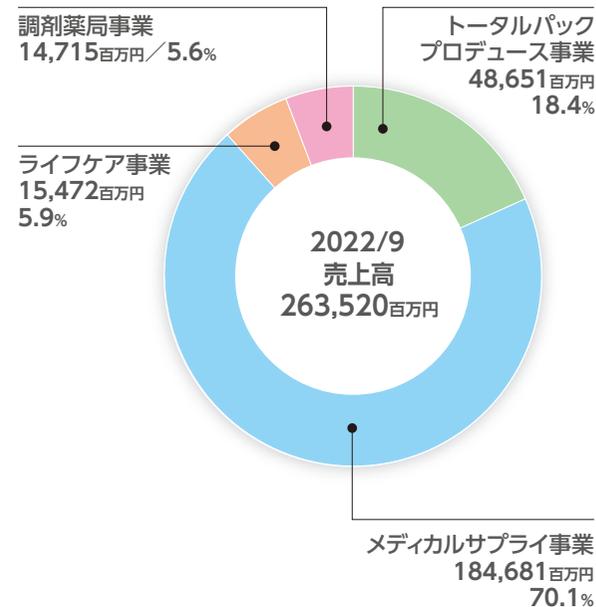
調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、小規模のM&Aや経営効率化等を実施いたしました。薬価改定の影響及び新規出店に伴う先行費用の計上等により業績は低調に推移いたしました。この結果、売上高は14,715百万円(前年同四半期連結累計期間比4.5%増)、セグメント利益(営業利益)は1,419百万円(前年同四半期連結累計期間比8.2%減)となりました。

● 業績トレンド



● セグメント別売上高構成比



会社情報

(2022年9月30日現在)

● 会社概要

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
 設立 1992年8月
 代表取締役会長 古川 國久
 代表取締役社長 大橋 太
 資本金 155億5,301万円
 決算月 3月
 従業員数 連結 8,081名(正社員) 17,031名(従業員)
 本社所在地 〒565-0853
 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
 TEL : 06-6369-0130
 FAX : 06-6369-3191

● 役員

代表取締役会長	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役副会長	小川 宏隆
代表取締役社長	大橋 太
専務取締役	小林 宏行
専務取締役	横山 裕司
常務取締役	海野 真史
取締役	島田 正司
取締役(社外)	佐野 精一郎
取締役(社外)	今別府 敏雄
取締役(社外)	伊藤 文代
取締役(社外)	西尾 文也
常勤監査役	戸田 成重
監査役(社外)	中尾 秀光
監査役(社外)	大山 博康
監査役(社外)	佐野 信行

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで・・・

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL(ホームページアドレス)

<https://www.shiphd.co.jp/>

SHIP HEALTHCARE



株式関連情報

(2022年9月30日現在)

● 株式の状況

発行可能株式総数.....128,000千株
 発行済株式総数.....101,669千株
 株主数.....4,308名

● 株式分布状況

株式分布状況(株主数別)



個人・その他	3,947名	91.62%
外国法人等	264名	6.13%
その他法人	44名	1.02%
金融機関	28名	0.65%
金融商品取引業者	24名	0.56%
自己名義株	1名	0.02%

株式分布状況(株式数別)



外国法人等	35,208千株	34.63%
金融機関	29,312千株	28.83%
個人・その他	16,793千株	16.52%
その他法人	12,346千株	12.14%
自己名義株	7,319千株	7.20%
金融商品取引業者	689千株	0.68%

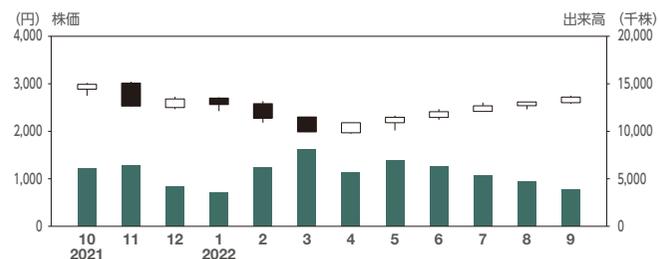
※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

● 大株主の状況

	[持株数]	[持株比率]
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	14,714千株	15.60%
株式会社ココロ	7,977千株	8.46%
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	5,477千株	5.80%
JP MORGAN CHASE BANK 380055	4,239千株	4.49%
全国共済農業協同組合連合会	3,112千株	3.30%
春日興産合同会社	2,800千株	2.97%
古川 國久	2,473千株	2.62%
古川 幸一郎	2,460千株	2.61%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505025	2,445千株	2.59%
GOVERNMENT OF NORWAY	2,175千株	2.31%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。※ 持株比率は、自己株式を控除して算出しております。

● 株価・出来高の推移



株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
 期末配当金受領株主確定日 3月31日
 定時株主総会 毎年6月中
 株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
 TEL 0120-094-777(通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所
 公告の方法 電子公告によりおこなう
 公告掲載URL <https://www.shiphd.co.jp/>
 (ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

英文ホームページはこちら <https://www.shiphd.co.jp/en/>
 English website

For Foreign Investors
 SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.
 Please check <https://sharedresearch.jp/en/3360> to view the report.



In-depth Company Report Link to Shared Research